

[担当教員]

遠藤秀平(教授) 槻橋修(准教授) 福岡孝則(特命准教授)
木上理恵(学術推進研究員) 高麗憲志(技術職員)

■学内インターンシップ概要

2015年度の大学院修士1年学内インターンシップは、以下のような課題、スケジュールで行う。

建築士の早期取得のためにも、在学時に実務経験としてのクレジットをできるだけ取得することが求められている。今回の学内インターンシップは設定したスケジュールの中企業の設計部のアドバイスも受けながらポートフォリオをブラッシュアップする共通課題と、津波避難タワーに取り組む個別課題A、小さい構造物・建築の設計を詳細まで詰める個別課題Bの2つを同時進行で進める。大学院建築学専攻の集大成として積極的な参加を期待している。

■学内インターンシップ課題設定

土地・自然と作用しあう小さい建築

身体スケールから、人間が作り出した環境と自然が互いに作用し合う瞬間を捉えるような、小さい建築の設計を行う。周辺の土地・自然との新しい関係性を築き、相互に作用しあうような小さな建築を構想してほしい。

・ステップ1 敷地の設定：

敷地の選定は各自で行う。地形・地質・植生・文化・社会的背景などもふくめて熟慮したうえで小さい建築の場所を設定すること。(都市の中、自然地、斜面地、水辺、農村、公園内、住宅地など)

・ステップ2 課題の設定(存在意義)：

課題の設定も各自で行う。敷地周辺環境も読み込んだ上で、建築を建てることで自然や周辺環境・地形との新しい相互に作用しあう関係を築くための課題は何か具体的に設定してほしい。誰のために、何のためにつくるのか？またその建築をつくったことによりどのような変化・作用を起こすのか？しっかり考えて設定すること。例えば斜面地に立つ週末住居や最低限の設備を持った小屋や、まちのなかで人々が厚真丸ためのコモン、強い日差しを和らげて快適な屋外空間をつくるパーゴラ、特別なプログラムのためにつくられた暫定

的なパヴィリオンなど設定は自由。ただし、その建築の社会的な価値や環境的な価値を意識して設定すること。また、敷地の持つ特性を最大限に活かし、季節や空気、熱、太陽、風の変化、そして周辺環境や使い手のライフスタイルによっても変化する小さい建築の設計に向けた設定を考える。

・ステップ3 設計(かたち、素材、詳細、工程)：

詳細設計：本課題では、自分で発見した敷地に自分で課題を設定し、小さい建築(周辺環境含む)の設計を行う。

地形や自然との調律作法・技術、かたち、素材の選定、組み合わせから詳細設計までを行う。

詳細設計図面の作成の仕方から積算、施工工程の流れまでを学び、建築学生として必要な経験を獲得することを目的とする。

■講評会の様子



塀の家と小屋の家

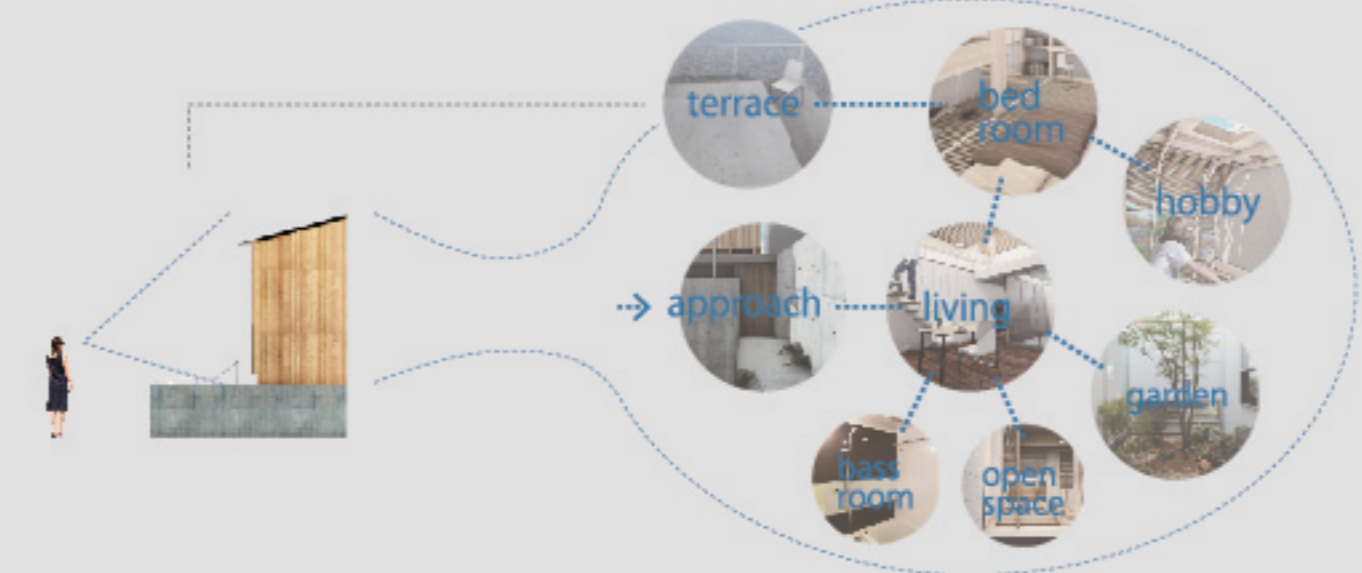
中川 寛之

均質な住宅地のなかに小さな小屋を建てることで、周辺に溶け込むのではなく、対立するでもないまちと特別な関係を結んでいる住宅をつくれなかと考えた。まちの要素をしっかり引き継いでおり、その場所だけ周辺とは違う時間が流れるような場所となることを目指した。



小さい家だからできること

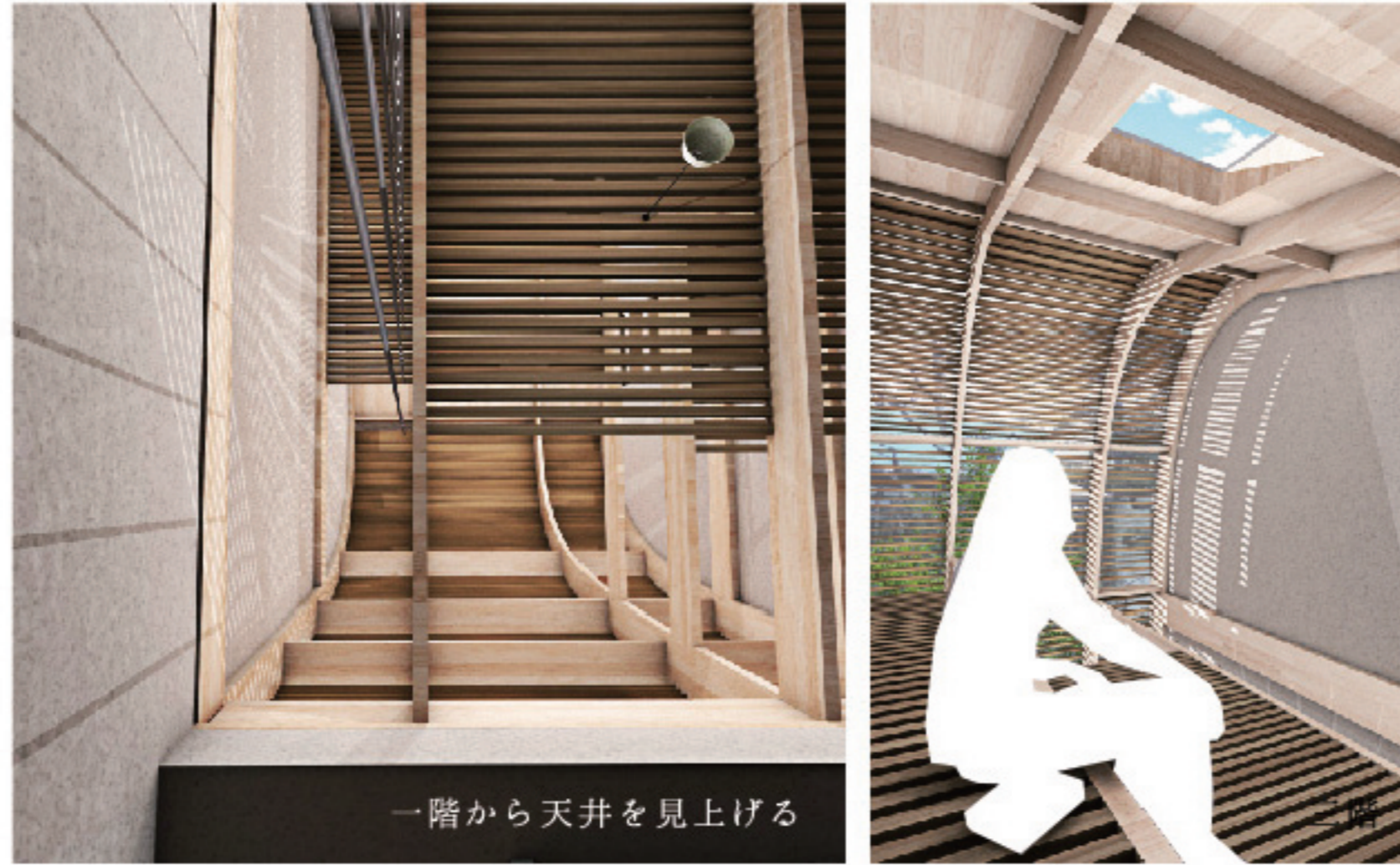
この住宅地にとって、この住宅は空隙となる。まちに対して閉じきった住まいは、たとえ内部が広くてもそれに応じた広さや豊かさは感じられないのではないだろうか。閉じながらも、一方で開くというある種矛盾しているようなこの住居は、ここに住む住人に真の意味での開放的な暮らしを提供してくれる。「塀の家と小屋の家」は、広さや明るさ、豊かな庭といった、住宅に求められる様々な要素を欲張りな小さな住宅である。



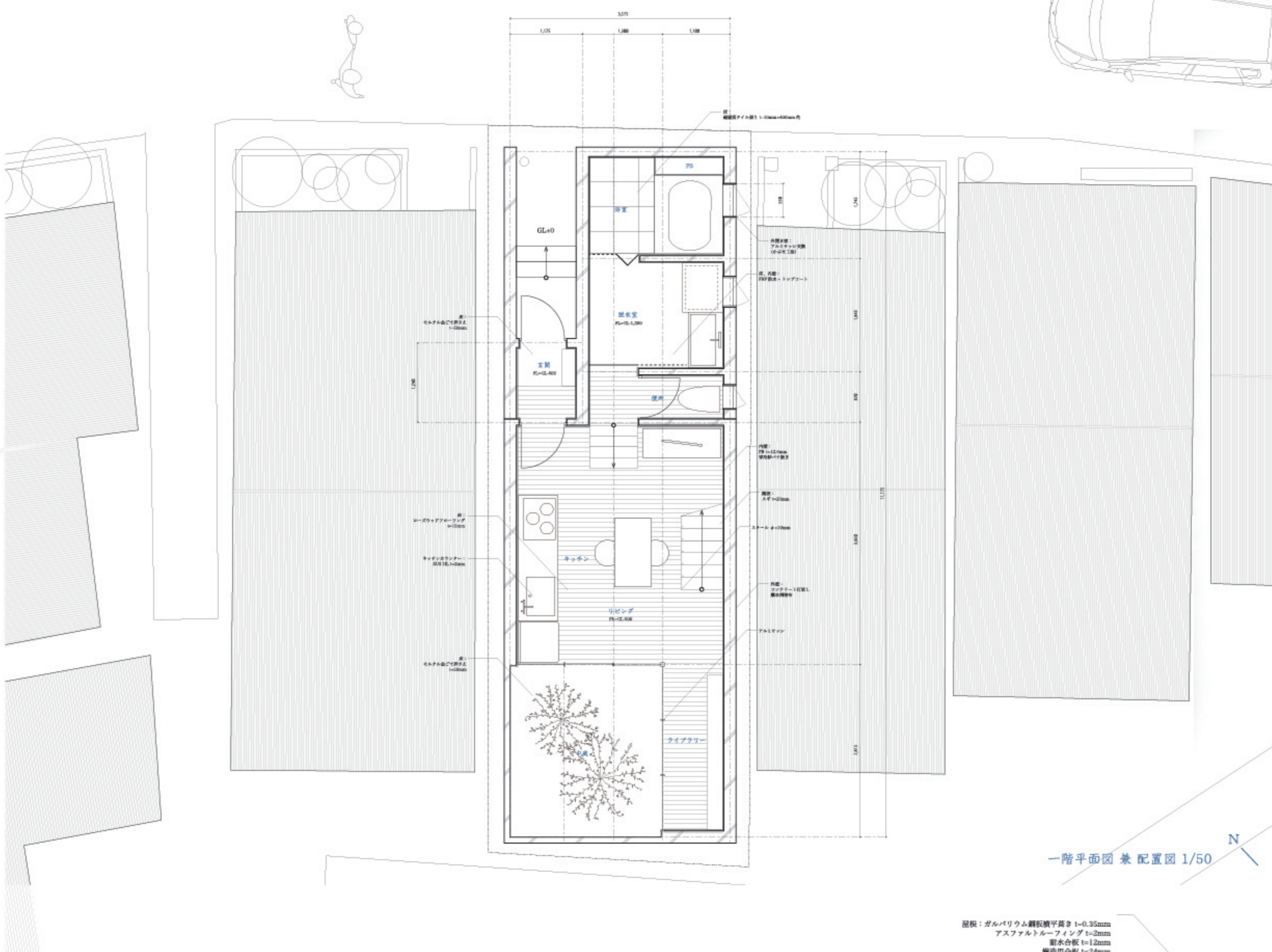
一階 / リビング



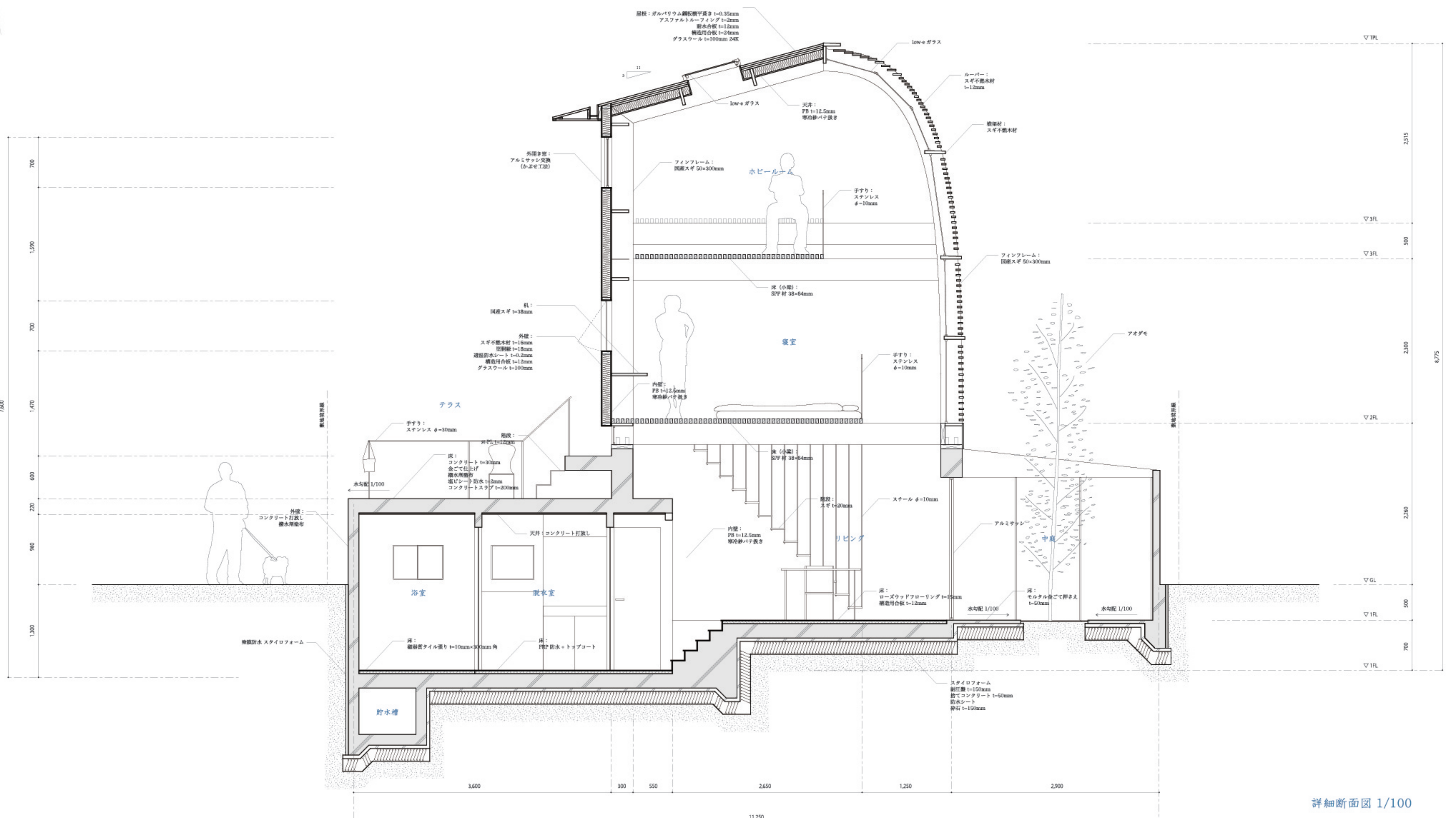
北側道路からパブリックな庭を見る



一階から天井を見上げる



一階平面図 兼 配置図 1/50



詳細断面図 1/100

木の外壁

塀の家の重いコンクリートと対比的な軽い木の外壁とする。

木造のフィンフレーム

東西方向にスペースに余裕がないため、細長い断面をもつ50x300mmの木のフィンフレームで架構を組む。構架材は軽やかなり、構造と生活が一体的なものとなる。

小梁：SPF材

材材は用いず、38x64mmの細い材を数多く用いることで床をつくる。ルーバーを通してきた光を運ぶことなく下へとし、1階に広がりをつくる。

建築率の緩和

一階部分の一部を半地下とすることで、建築率を緩和する。

ルーバー

南側一面のルーバー。アールをかけることで一階から見上げたときに覆われている雰囲気を出す。

小梁のスキップフロア

フレームの間に設置される床は、スキップフロアになっており、自由な様家のような印象をつくる。また、1階にもより多くの広がりをつくる。

RC造

アクソメトリック